

4. フォーラム・シンポジウム等への参加

(1) 大学教育改革プログラム合同フォーラム 参加報告



大学教育改革プログラム合同フォーラムが、文部科学省 / (財)文教協会の主催で、2009年1月12日、13日の両日パシフィコ横浜で開催されました。このフォーラムは、国公私立大学を通じた大学教育改革を積極的に支援する各プログラムに選定された取り組みが一堂に会し、意見交換や議論を交わすことにより、その取り組みの教育的財産の共有を図ることを狙いとしたものです。本GP（特別支援教育時代の教員養成システムの開発）も12日にポスター発表を行い多くの大学関係者と情報交換を行うことができました。

「授業の充実」「多様な臨床活動の活用」「教育実習の充実」の3つの取り組みについて説明を行うなかで、教職希望学生全員の必修科目である「障害児の発達と教育」のカリキュラム上の位置づけやシラバスなどに質問が多数集まりました。

また、情報交換の中では、複数の大学から、幼、小、中、高の学校教員だけでなく、大学教員向けに発達障害等の研修の機会を設ける必要があるのではないかという意見がだされ、高等教育における学生支援にまで話題が広がりました。

(2) 「生きる教師力を育む特別支援学校教員養成」フォーラム2009
 (鹿児島大学・琉球大学主催) への参加報告

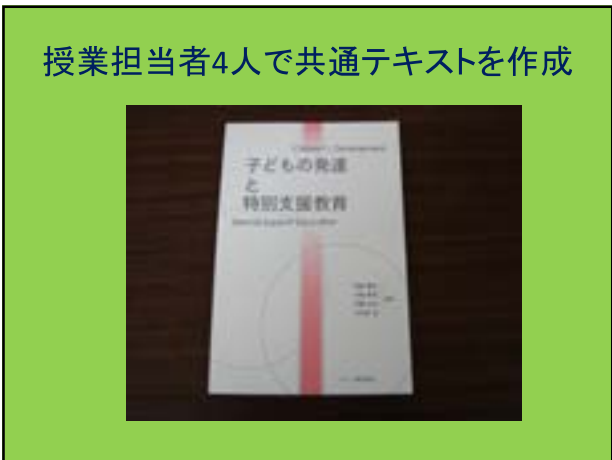
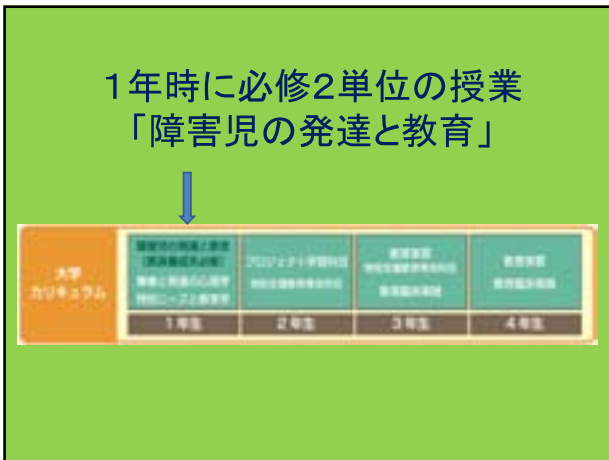
平成20年度採択 教育GP
**特別支援教育時代の
 教員養成システムの開発**

東京学芸大学
 伊藤 友彦

本GPにおける取り組みの紹介

従来型の教員養成では、一部の学生だけが特別支援に関する学習をするだけで、小・中学校の教員志望の学生の多くは、特別な教育ニーズを有する子どもたちに対する知識や理解が不十分なままであった。

東京学芸大学では**教職を目指すすべての学生に対して**児童生徒のアセスメントとそれに基づく指導実践のための力量形成を目指した取り組みを展開する。



授業担当者間で共通シラバスを作成

1. オリエンテーションとアンケート
2. 発達障害概説 (VTR)
3. 障害児の教育 (国際動向・制度・教育課程)
4. 障害と教育支援1 (知的障害と教育支援)
5. 障害と教育支援2 (自閉性障害と教育支援)
6. 障害と教育支援3 (ことばの障害と教育支援)
7. 障害と教育支援4 (発達障害と教育支援)
8. 障害と教育支援5 (感覚の障害と教育支援)
9. 障害と教育支援6 (重度重複障害と教育支援)

10. 特別支援教育の実践1 (通常学級における実践・通級による指導の実践)
11. 特別支援教育の実践2 (特別支援学級における実践・特別支援学校における実践)
12. 障害児のアセスメント (演習)
13. 個別の指導計画の作成 (演習)
14. 障害児の発達 (教育と発達・認知理論と発達・行動理論と発達・言語と発達)
15. 試験

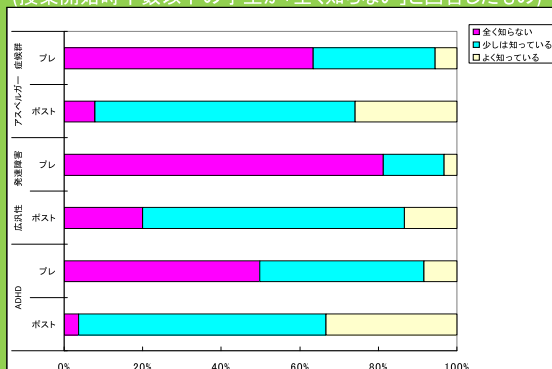
アセスメントの授業 (2人1組で実験者と被験者)



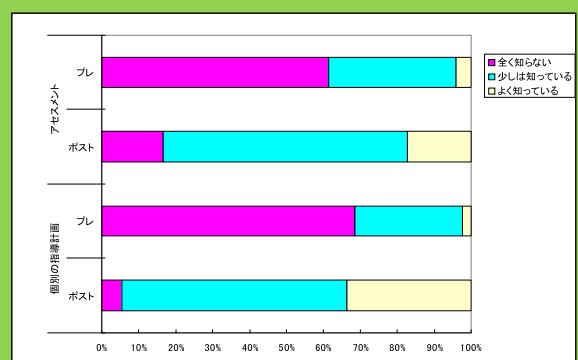
アセスメントの授業 (大学院生をTAとして)



障害種に対する認知度 (授業開始時半数以下の学生が「全く知らない」と回答したもの)



「アセスメント」・「個別の指導計画」という用語の認知度



多様な臨床活動の充実



臨床活動部会発足



◆ 21年4月に教職希望者への合同説明会を予定

多様な臨床活動の活用

特別支援科学講座の教員がすでに組織している外部専門機関等（特別支援学校、医療機関、NPO等）と連絡した発達障害児の臨床実践の場を、全学の希望学生に提供。

継続的な実践力の積み重ねをはかる。

活動の例

- 自閉症スペクトラムの小学生を対象とした臨床実践
東京小児病院と連携
- 都立武蔵台特別支援学校と共同実施。同校の支援エリアの小中学校等の特別な支援が必要な児童生徒を対象とした臨床実践
- 発達障害を併せ有する聴覚障害児の指導会。NPO
大塚クラブと連携

（この他にも3グループがあり、計約100人を超える学生が参加している。）

学生自身が評価を行い



指導実践



スーパーバイズを受けながら 指導の見直し(反省会)



教育実習の充実



教育実習時に、各校コーディネーター による特別支援教育の説明

- 教職希望者必修の基礎実習時に各附属校・園の特別支援教育コーディネーターによる特別支援教育の説明を予定(平成21年度より)
- 特別支援教育の視点をもった教育実習の実現を目指す

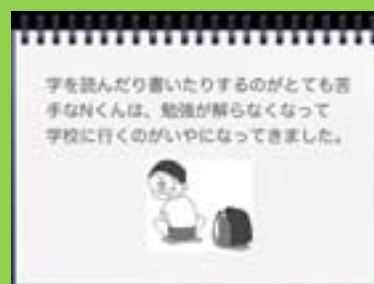
教育実習用スライド・DVDの開発

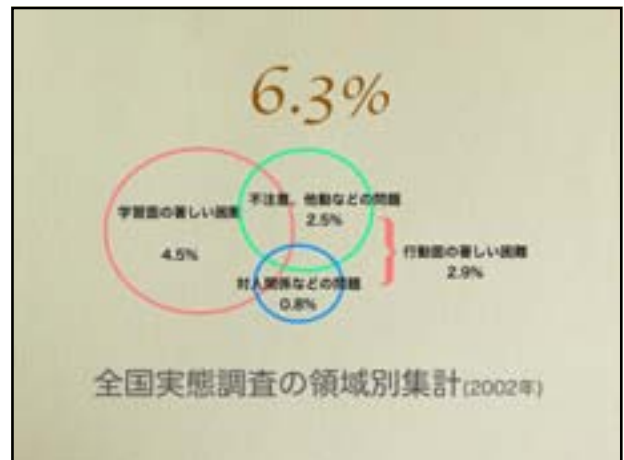
平成21年度から全附属校で行われる特別支援教育に関する説明のためのスライド、DVDを附属特別支援学校・特別支援科学講座共同で、作成

[スライドの一部] 障害の多面的な捉え方



[スライドの一部] 発達障害が引き起こす困難の例





**担任だから、と
一人で抱え込まないで！**

合い言葉は「チーム支援」

新しい学校に赴任したら
まずその学校の支援体制を知ろう。

- 教育実習や教員として新しい学校に赴任した時には、次のことを押さえておきましょう。

1. 特別支援教育の校内委員会の位置づけやメンバー
2. 特別支援教育コーディネーター
3. ケース会などのしくみや年間の日程
4. 個別の指導計画などの書き方や保管場所
5. その他にも、近隣の支援機関等の地域資源にも関心を！

おわりに

特別支援教育時代の教員養成システムの開発とその普及によって、わが国の通常の学校を含むすべての教員が特別支援教育について基本的な知識・技能を持てるようになることを期待しています